

1.今後の普及率目標(年度毎)

※目標は2025年度(令和7年度)にZEH普及率が50%以上となっていることが求められます。

注文・・・新築注文住宅 建売・・・新築建売住宅 既存改修・・・既存戸建住宅の改修 単位 (戸)

	2020年度(令和)実績			2021年度 (令和3年度)目標		2022年度 (令和4年度)目標		2023年度 (令和5年度)目標		2024年度 (令和6年度)目標		2025年度 (令和7年度)目標		
	件・軒・戸数	割合	目標	注文 建売	割合	注文 建売	割合	注文 建売	割合	注文 建売	割合	注文 建売	割合	
ZEH 受託数	注文	0	0%	10%	注文	20%	注文	25%	注文	30%	注文	35%	注文	40%
	建売	0	0%	%	建売	10%	建売	10%	建売	10%	建売	10%	建売	10%
	既存改修	0	0%	%	既存改修	5%	既存改修	5%	既存改修	5%	既存改修	5%	既存改修	5%
	合計	0	0%	10%	合計	35%	合計	40%	合計	45%	合計	50%	合計	55%
総建築数	0													

2.具体的なZEH普及策(ZEH低コスト化への取り組み等)

計画を達成するための、具体的な普及策を記入すること。

【1】ZEHの周知・普及に向けた具体策

- ・HPでの配信
- ・会社案概要書に記載して周知してもらう。
  - ・モデルハウス来場客への紹介
  - ・ZEH住宅シリーズの企画販売
  - ・チラシ等での告知

【2】ZEHのコストダウンにむけた具体策

- ・平面の凸凹だけでなく、バルコニーやオーバークングによる立面の凸凹も配慮し、外皮面積を小さくする。
- ・施工業者と勉強会を行い、施工方法を周知徹底し施工ミス等の削減を目指す。
- ・商社・メーカーと連携し、外皮性能や省エネ削減機能力が高く、安価な資材、建材、設備機能を調査、採用する。
- ・太陽光の発電効率がよく設置が難易にならない屋根形状、配置計画とすることで工事費削減を目指す。

【3】その他の取り組みなど

- ・ZEH基準の高性能な住まいを得ることで、心疾患や入浴でのヒートショックなどの健康被害を低減させ、長く安心して住める生活空間を提供する。